

## 社会的企業とは

ーロンドンで考えるー

開倫塾

塾長 林明夫

**Q：ロンドンには何をするためにいったのですか。**

A：(林明夫：以下省略) 社団法人経済同友会(東京)の NPO・社会起業推進委員会の英国ミッション(視察団)の一員として、英国の社会的企業の調査・研究のため 3 月 7 日から 10 日まで行ってきました。団長は、委員長の濱口敏行・ヒゲタ醤油社長。他の団員は、私と経済同友会事務局を含めて 4 名の極めて少人数でした。

ロンドンでは、日本でも始まったホームレスの自立支援のための路上販売雑誌ビッグ・イシューの本部、イギリスの内閣府サード・セクター局、この分野のシンクタンクの NEF(ニュー・エコノミクス・ファウンデーション)、大学院レベルでこの分野の研究と人材育成をしているオックスフォード大学スコールセンター、ロンドンのテムズ川河畔のサウス・バンク地区の再開発問題を契機とする社会企業コイン・ストリート・コミュニティ・ビルダーズ、更には、社会的企業の間支援組織ソーシャル・エンタープライズ・ロンドンなどを訪問。実務担当責任者や広報担当責任者からのヒアリングとディスカッション、見学を行いました。

使用言語は英語。但し、専門用語が多いので必要に応じて日本語通訳がつかしました。

**Q：ところで、社会的企業とは何ですか。**

A：社会の問題・課題の解決を目的とする企業と私は考えます。

スラムの撲滅、失業対策、識字率向上、年齢や男女差別撤廃などのほか、教育や環境をはじめとする様々な社会的課題の解決を目的とする企業を社会的企業と考えます。

例えば、ビッグ・イシューという社会的企業は、失業中の人々に情報誌を販売してもらいことで生活に必要な収入を得てもらうために設立された会社です。

**Q：普通の社会と社会的企業との違いは何ですか。**

A：収益を得た結果、その半分以上を株主への配当にまわしてしまうのが従来型の企業ですが、社会的課題の解決を目指し、なおかつ、収益の半分以上を社会的目的にまわし、出資者への配当は収益の半分以下の企業を社会的企業と考えます。

**Q：なぜこの社会的企業の考え方がでてきたのですか。**

A：先進諸国、特にヨーロッパでは福祉社会化が進み、20 %近い消費税や 6 割を越える国民負担率になっても十分な行政サービスが提供できず、国家や地方の財政が厳しい状況になっています。

そこで、公の仕事(公共サービス)の中で、民間でできるものはできるだけ民間に担ってもらおうとの考えのもとに、社会的課題の解決を目的とした企業の促進がはかられました。

イギリスでは、政府の中に社会的企業を担当するサード・セクター局が設けられ、オックスフォード大学にはスコールセンターという社会的企業の研究と人材育成をする大学院が、民間にはNEFという社会的企業の業績評価や国別ランキングまでするシンクタンクが存在します。

テムズ河畔の再開発は、社会的企業と行政がタッグを組んで、危険で一般の人が近寄れない地域を高級レストランのある地域にしました。

**Q：学習塾・予備校・私立学校の経営者の皆様にお伝えしたいことはありますか。**

A：学校法人格をもつ私立学校は、利益を出資者に分配することは禁じられており、教育という社会的課題を解決する目的のために設立されたものですので、学校法人設立時の目的を現代的課題に置き換えた上でその達成のためにがんばって頂きたく希望いたします。有名上級学校への合格者を出すことが教育の内容なら、是非、設立の趣旨を思い出し、その学校本来の教育を中心に据えて頂きたく存じます。

学習塾や予備校は、株式公開や、上場企業は株主への配当が求められますが、株式の未公開、非上場会社で出資者への配当が全くないところやあってもごく少ない割合の場合は、もしかしたら社会的企業であると考えます。

もしそうであるなら、是非、皆様も欧米の非営利企業(NPO)や社会的企業の動きに関心をもたれ、社会的企業という観点からの経営を目指すことをお勧めいたします。

私は、受験指導という乗り越えなければならない困難な課題があるにせよ、日本の学習塾・予備校・私立学校は社会的企業の考えが最も適合するのではないかと考えます。

もしかしたら、日本以外の世界の様々な国々でも、日本の学習塾・予備校・私立学校が各国の教育問題の解決のために役立つことも多いのではないかと考えます。新興諸国だけでなく米国やヨーロッパでも今までの学校教育が見直され、不足することが気付かれつつあります。世界を目指す時期は今かもしれません。

**Q：最後に一言どうぞ。**

A：何のために生きるのか、働くのかを考えることは、勉強する上で大きなエネルギーになります。そこで、私の知り合いの5人の大学4年生が、仕事とは何かについていろいろな分野の方々にインタビューし一冊にまとめたチーム20S5著「仕事ってこういうことだったのかー先輩たちが教えてくれたこと」かんき出版2010年3月10日刊を最後に御紹介させていただきます。東京大学哲学科の松永澄夫先生の御指導のもとに、夢と悩みを抱える20代の方のために半年かけて執筆したものです。是非御一読を。

－ 2010年3月22日 林 明夫記－